



アンケート回答総数915件!



アンケート集計結果をご報告します。
ご協力ありがとうございました。

08年度に向けて、昨年11月に行った「2007秋NPOアンケート大作戦」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。受講生の皆様、運営世話人の皆様のご協力を感謝申し上げます。

・アンケート回答総数について・・・アンケート回答総数 915件 回答率 44%

各講座・ワークショップの回答数、回答率は以下のとおりです。

<グループ1 内訳>

回答数	25	45	23	14	12	26	13	20	13	14	49	26	9	13	8	15	127
受講生数	118	130	153	36	27	61	15	36	30	22	78	58	22	67	27	27	181
回答率	21	34	15	39	44	43	87	56	43	64	63	45	41	19	30	56	70

音楽 音楽 音楽(W.S-6) 文学講座 文学WS 人間の思想 人間の思想 WS
 人間の思想 人間の思想 WS カウンセリング 暮らしの中の科学 社会の思想
 社会の思想 WS 社会の思想 社会の思想 WS 社会の思想 音楽

<グループ2 内訳>

回答数	22	18	24	76	150	24	18	67	12	13	10	7	22	合計
受講生数	72	67	46	128	236	36	44	158	44	22	21	80	44	915
回答率(%)	31	27	52	59	64	67	41	42	27	59	48	9	50	44

みどり学 みどり学 「環境とみどり」講座/WS 美術 美術 美術
 美術WS 歴史 歴史WS 夜間講座「昭和天皇」 社会福祉 自然科学 映像・メディア

・アンケート集計結果について

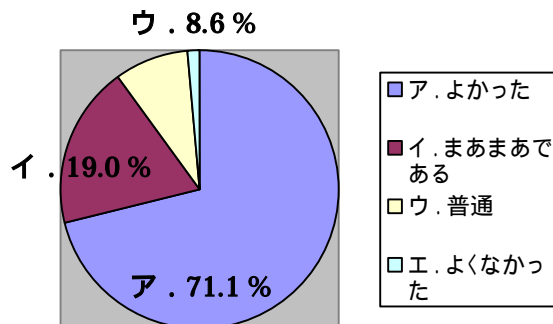
アンケートの「1.(1)後期の講座・ワークショップの内容について」より「8.そのほか何でもご自由にお書き下さい」までの質問項目のうち、「データ集計項目」と「要望・意見項目」に分けて以下に記載します。

- 1) データ集計項目

1.(1) 後期の講座・ワークショップ内容について

< 講座・ワークショップ総数集計 >

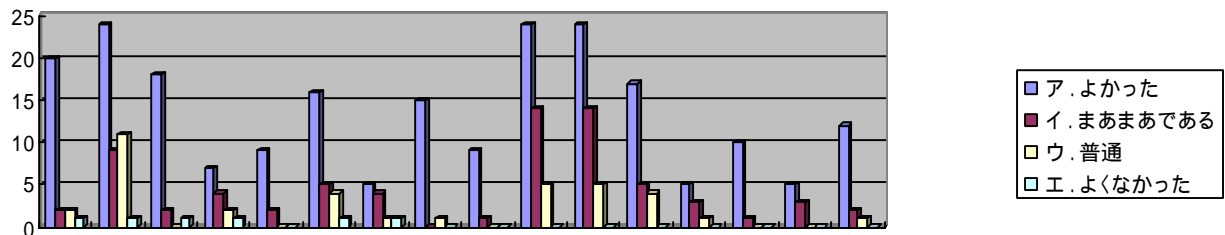
	件数	比率%
ア.よかった	543	71.1
イ.まあまあである	145	19.0
ウ.普通	66	8.6
エ.よくなかった	10	1.3
計	764	100.0



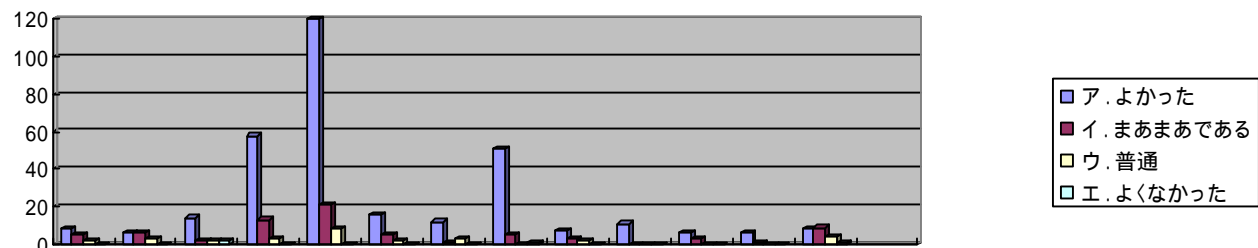
< 内訳 >

各講座・ワークショップの内訳について

< グループ1 >

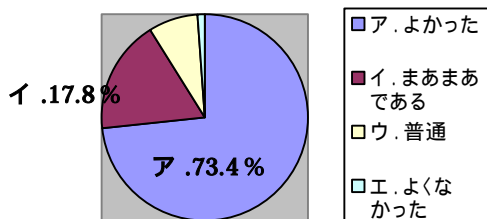


< グループ2 >



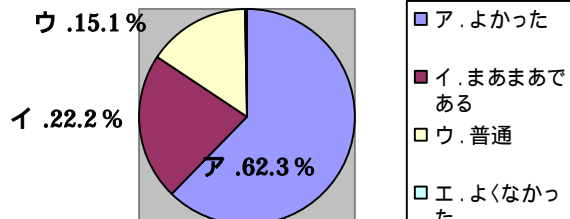
1. (2) 前期の講座・ワークショップ内容について

ア.よかった	358	73.4%
イ.まあまあである	87	17.8%
ウ.普通	37	7.6%
エ.よくなかった	6	1.2%



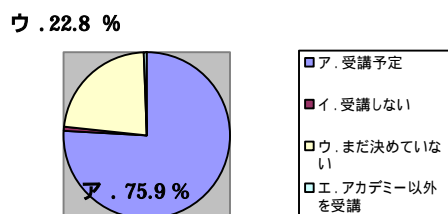
(3) 講座・ワークショップの運営について

ア.よかった	503	62.3%
イ.まあまあである	179	22.2%
ウ.普通	122	15.1%
エ.よくなかった	3	0.4%



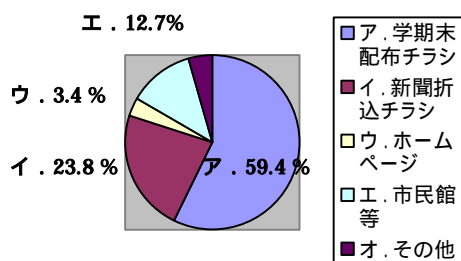
3. 08年度の受講について

ア.受講予定	566	75.8%
イ.受講しない	5	0.7%
ウ.まだ決めていない	170	22.8%
エ.アカデミー以外を受講	5	0.7%



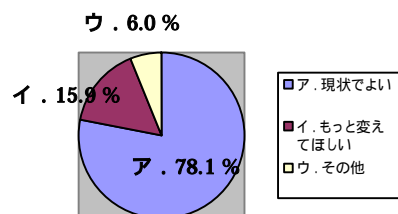
4. アカデミーの講座・ワークショップの情報源

ア.学期末に配布チラシ	345
イ.新聞折込チラシ	138
ウ.ホームページ	20
エ.市民館、市役所	74
オ.その他	4



5. アカデミーへの期待

ア.現状でよい	413
イ.もっと変えてほしい	84
ウ.その他	32



- 2)「要望・意見項目」

アンケートの「6.NPOへのご要望・ご意見について」、「7.財団へのご要望・ご意見について」、「8.自由記入について」については、項目を設け記載内容をトータル化し、「(1)NPOへのご要望・ご意見について」、「(2)財団へのご要望・ご意見について」に集約しました。

(1)NPOへの意見・要望について

運営を評価して支援する回答が多くある反面、今後さらに効率化し、活動内容を公開し、運営は市民の視点で市民運営を更に進める要望があった。

財政面、人材面について心配し、財団の支援や市議会その他からの政治的バックアップも必要性があるなどの意見もある。

講座について

ア.シニア学習としての事業を奨励し、現在の講義内容のレベルを維持し、受講希望者が少数でも市民のためになる講座・WSは残すべきという意見がある。

イ.2年間(4期)にわたってカリキュラムが組まれていると何を学ぶか示されているので、今後の学び方の参考になる。

ウ.講座の時間・場所

- ・新百合ヶ丘周辺の場所(麻生区や多摩区)での講座を望む声も多い。
- ・講座の終了時間を守る。講座の開始を10時にする意見や高津や新百合の講座から生涯学習プラザ来る人の場合では13時より遅くするなどの意見があった。

エ.講座の提案、連携

- ・合唱、ビートルズ、ジャズなどの講座、料理実習の講座(栄養指導も含め)、演劇入門講座(子どもの施設などで実際に講演する)、絵、音楽などの実技講座、夜間講座増。
- ・地名資料館や平和館などの文化施設との連携。

運営世話人、サポーター

ア.運営世話人への感謝が寄せられ、一方受講生と運営世話人の両立は難しく固定化してしまい人材不足になることを心配している。

イ.一部の人に負担をかけないで受講生がアカデミーの運営に自分ができる範囲で協力してはどうかという意見もある。

ウ.サポーターの役割を確認しサポーターを歓迎している。NPOで運営世話人とサポーターも同一運営できないか、という意見もある。

アンケートについて期中の実施や質問内容についての意見もあった。もっと解りやすくとの声もいただいた。また、アンケートだけでなく直接受講生の意見を聞く機会を作って欲しいという声もある。

(2)財団への意見・要望について

アカデミーにおける運営委員会と財団、NPOとの関係や位置づけ、また運営委員会の業務内容などをもっと明確にしてほしい。またアカデミーの継続を望み、物心両面のサポートの要望もある。そして予算確保と財政支援への要請がある。

施設に関する要望、指摘

- ・新百合ホールは簡易机付き椅子で不便。パソコン、プロジェクターの不備。マイク等で拡大希望。部屋の冷えすぎ。自転車置き場が少ないなどの指摘あり。

・開催場所をたとえば川崎区の教育文化会館など広範囲化の希望もあった。

受講料について

・聴講生の受講料が高すぎるという反面、受講料が安いので現状で十分満足、財政難ならば受講料はもっと高くてもよいという意見もある。

広報について

・受講生が少ない川崎区、幸区へのPR。団塊世代、市関係の役職員の定年退職者の取り込み。日経新聞にもチラシを入れる。主要駅にアカデミーの内容についてのポスターによるPRなど。

地域活動

・受講生の地域活動を促すために、たとえばフロンティアの活用、生涯学習プラザの拠点化、職員アドバイザー養成などがあった。

「2007 秋NPOアンケート大作戦」まとめ

当アンケートについてのまとめは以下のとおりです。

<アンケート集計結果について>

1. 講座内容に対する回答では、後期について764名が回答し、71.1%の543名が「よかった」、「まあまあである」は145名、19.0%である。合計で688名、90.1%が概ね満足している様子が伺える。前期は回答数が少ないが、488名のうち「よかった」358名、73.4%で、「まあまあである」は87名、17.8%。合計では91.2%で前期と後期はほぼ同じ率である。
2. 運営については62.3%がよかったと答え、22.2%がまあまあである、としている。合計84.5%。
3. 08年度受講については、566名、75.8%が受講予定で継続的に受講している受講生が多い。
4. アカデミーを知った情報源としては、「学期末の配布チラシ」345名、59.4%。「新聞折込みチラシ」138名、23.8%となっており、新聞は新規の受講生獲得に効果を発揮しているが、市民館・市役所も経費対効果では74名、12.7%と侮れない情報源となっている。
5. アカデミーへの期待では、413名78.1%が「現状でよい」と答え、「もっと変えて欲しい」は15.9%。
6. 全般に講師のわかりやすい説明や専門性、また、人柄やテクニックなど講師への高い評価も多くあり、講師とテーマは講座・ワークショップの重要な構成要素であることが裏づけられた。

<今後について>

このたびは、「2007 秋NPOアンケート大作戦」について、今回の実施は初めての試みで十分な内容や準備が足りなかったにもかかわらず皆様からご意見・ご要望をいただき誠にありがとうございました。このまとめには各講座・ワークショップの講座内容への改善・要望は記載できませんが、講師の先生に働きかけるべき内容も含まれ、また施設や運営の中でもすぐ実施できる提案もあり、今後の貴重なものとして生かしてまいります。アカデミーは、時代の変化に対応した専門的でしかもわかりやすい講座・ワークショップの講義内容や質的レベル維持などが求められています。アカデミーのあるべき姿や特色は受講している中においては意外と認識できにくいこともあり、絶えず自身を改革していく必要があります。

これからも受講生の皆様や運営世話人の皆様と一体になってアカデミーを盛り上げていくために、このアンケートを踏まえてNPOも日々新たな気持ちで一生懸命に講座運営を行なってまいります。どうかご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。
(文責：企画担当)